

第一回 北川ダム建設事業「検討の場」会議 (安曇川治水計画に対する意見交換会)

議事概要

事 項	第一回 北川ダム建設事業「検討の場」会議	参加者	構成員 : 39名 一般傍聴 : 28名 高島市・県関係者 報道関係者等
日 時	平成 23 年 2 月 12 日 (土) 10:00 ~ 12:16	場 所	高島地域地場産業振興センター 2F 多目的ホール
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開催にあたって ・滋賀県知事，高島市長，安曇川水系治山治水事業促進協議会会長，地域代表挨拶 2. 開会 3. 委員の紹介 4. 会議規約について 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 県の治水政策について 2) 安曇川の治水対策について 安曇川の流域及び概要 北川ダム建設事業の概要、経緯 北川ダムの検証について 3) 意見交換会 4) 一般傍聴者からの意見 6. その他（今後のスケジュール等） 7. 閉会 		
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北川ダム建設事業「検討の場」規約 ・ 第一回北川ダム建設事業「検討の場」説明資料 ・ ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目（構成員のみ） 		



1. 開催にあたって

開催にあたって、滋賀県知事，高島市長，安曇川水系治山治水事業促進協議会会長 地域代表より、あいさつを行った。

検討の場開催に際していただいたメッセージを紹介した。



2. 開会

『第一回 北川ダム建設事業「検討の場」会議』を開会した。

配付資料の確認を行った。

3. 委員の紹介

委員の紹介を行った。

4. 会議規約について

本会議の規約、構成、公開方針の案を説明し、これらの内容について了承を得て、本日付けで規約が施行された。



5. 議事

(1) 県の治水政策について

事務局より、滋賀県の治水政策についてパワーポイントを用いて説明を行った。

(2) 安曇川の治水対策について（事務局説明）

事務局より、安曇川の流域概要についてパワーポイントを用いて説明を行った。

事務局より、北川ダム建設事業の概要、経緯についてパワーポイントを用いて説明を行った。

事務局より、北川ダムの検証についてパワーポイントを用いて説明を行った。



(3) 意見交換会

説明内容について、意見交換を行った。

委) 本日は知事が途中退席されたが、このような大きな問題を議論する会議なので、今後は地元住民の思いを聞いていただくためにも最後まで同席していただきたい。

事) 次回からは、知事も同席して意見交換できるよう、日程調整する。



委) 滋賀県の環境関係部局からもメンバーを出して欲しい。

事) 環境部門の者も加えるよう、調整する。

委) 安曇川の整備目標を 1/30 程度にするとあったが、これで昭和 28 年災害は防げるのか。

事) 昭和 28 年洪水の流量を確率評価するとおおよそ 1/80 程度になるため、1/30 規模の整備では防げない。

委) 地域代表からのあいさつで、「ダムに頼らない治水を前提にするのであれば、我々はこの場に出る資格はない」とあったが、このような方も構成員に含めている。規約を読み上げられて即検討会に入っているが、このような協議がなされないまま県の意向でこの会が進められている。



事) この会議はダムの方向性を決めた上で開催しているのではない。ダムの効果を今一度検証し、

他の色々な対策の効果も検討した上で、ダム建設の是非を議論する会議とご理解いただきたい。

委) 県はこれまで既に 114 億円を投入しているが、あくまで建設推進を前提に考えているのか、場合によっては建設しないのか、県の意向を聞かせていただきたい。

事) 本日は、北川ダム事業の方向性を示すものではなく、ダム事業を検証するという宣言をさせていただく場である。次回以降、ダム建設を含めた色々な対策案の検討結果をお示しし、皆さまの意見を伺った上でダム建設事業の可否を決めていく。

委) これまで 114 億円が投入されている。ダムを推進するのか、非常にやりにくい状況なのか、はっきりした上でスタートすべきではないか。

事) 先ほども申し上げたが、本日はダムの方向性を決めた上での会議ではない。今後のダム建設に要する費用、他の対策に要する費用を比較して方向性を考えていく。

委) 漠然とした回答で十分理解できない。中途半端で放置されているのが一番の問題と思う。促進協議会や地元住民の思いが十分理解されていないように思える

委) この会議は、40 数年前の時点で開かれるべきものではなかったか。第一ダムの附帯工事により漁場の被害を受けているが、それに対して何の対策もとられていない。知事に直接訴えたかったのだが。

事) 知事には報告する。工事を行うにあたっては、ご指摘のようなことはあったと思うが、国からも今一度事業を見直しせよということになっているので、ご理解いただきたい。

委) 安曇川の水害をどう防ぐかが最大の課題である。本日は、色々な代替案に基づき、安曇川の水害を防げるのか、費用と効果を数値的に示して欲しかった。

事) 現在、ダム案を含めた色々な治水対策案の効果と費用について検討中である。次回以降は、データをお示ししながら議論したいと考えている。

委) 検討会を開催するという事は、ダムを中止にして他の対策をとるというように受けとれるが、県はどのような思いでおられるのか。我々区長は 3 月で任期が切れるので、第 2 回会議はいつ開催されるのか

事) 再度申し上げますが、ダムの方向性は他の対策と効果や費用を比較した上で決めていく。北

川ダムは国の補助事業であり、国の方からも予断なく検証せよと指示があったのでご理解いただきたい。第2回以降の会議は年度明けになるため、区長さん等には引き継ぎをお願いしたい。

委) ダムを中止にした場合に、どの程度までが担保(補償)されるか、財源があるのか非常に危惧される場所である。環境面等、地元の要求したものについては、最大限配慮していただくことが地元としての最大の要望と考える。

事) 財政的に厳しい状況にはあるが、当然地域にとって必要なことには対処していく必要があると考えている。



委) 概ねでよいので、昭和28年洪水時の雨量と、現在の河床低下を考慮した上での安曇川が氾濫する目安となる雨量を教えて欲しい。

事) 昭和28年洪水時は、2日間で460mm降っている。どの程度の雨量で破堤するかについては、50mピッチで今年度に測量した横断形状に基づき詳細な検討を実施しているところである。安曇川の中流域では1/30の安全度は確保されていない箇所もあるということにははっきりしている。

委) 河床低下が進んでいる影響か、これまで堤防が決壊するような増水は見たことがない。これからは多額の費用を必要とする状態なので、しっかり検証する必要がある。検討会の開催回数は3回と言わず、もっと協議した方がよいと思う。

事) 河床低下状況については、現在測量を行っているところであり、どの程度の雨で水位がどこまで上昇するかは、測量結果を踏まえた解析により把握できるので、今後お示しする。会議の開催回数については、3回で終わるというわけではなく、必要に応じて開催する方向で考えている。



委) これまで地元に対し、早期にダムを完成させる必要があると説得していたのが、国の方針転換、知事の意向で、ダム事業を方向転換するのは納得いかない。

事) 嘉田知事になってダムに関する方向性が変わったのは確かである。民主党政権になってその流れが加速したこともあるが、滋賀県では全国的に先駆けてダムだけに頼らない治水政策に変更している。本日は、ダムも継続するという含めてお示ししているものである。ダムを含めた治水対策案について効果・費用・環境面を比較し、次回以降の会議で数値、客観的データを皆さまにお出しして議論をいただくという過程を踏んでいきたいと考えている。

委) 平成17年から18年頃と思うが、かなりの増水が発生し、常安橋から見て庄堺と南古賀の間の堤防が切れそうになったため、自警団を動員して見張っていた。最優先には言わないが、堤防強化にも取り組んでもらいたい。

事) ダムの有無に関わらず、堤防が高い所はしっかり手当をする必要があると考えている。

委)琵琶湖が一つのダムであることを皆さんにイメージしていただき、淀川水系全体の洪水調節も合わせて考えて、安曇川の治水事業を考えていただきたい。

事)水系としてはつながっているの、関係するデータは必要に応じてお示ししたい。

(4) 一般傍聴者からの意見

一般傍聴者から意見を伺った。

傍) 地域主権の観点から、このような問題は県主導ではなく、高島市に権限委譲いただき議論すべきでないか。現在、高岩橋で関西電力の取水工事が行われているが、河川断面が半分程度になっているので、大雨が降ると浸水が危惧される。流出係数について、過去のデータを用いるのではなく、最近の洪水時の流出係数を検討し、これを計算に使うべきである。



傍) 常安橋の高水流量 3,200m³/s は過大評価されており、ダムをつくるがための数量であると思う。穴あきダムが環境にやさしいとは具体的にどういうことか。北流と南流に囲まれている集落に住む我々は水害に対する警戒心が強いことから、川の中に竹藪を作ってもよいものかと思っており、妨げになるところは早急に伐採していただきたい。

事) 維持管理については、地域すべからくというわけにはいかないが、鋭意実施していく予定である。

傍) 次回以降、資料は事前に提示していただきたい。また、委員に学識経験者を入れるべき。

6. その他

今後のスケジュールについて説明を行った。

7. 閉会

滋賀県土木交通部長より、閉会のあいさつを行った。

『第一回 北川ダム建設事業「検討の場」会議』を閉会した。